



小平町の化石

愛好家により発見された
貴重な歴史的遺産たち

小平町の小平薬川流域は、アンモナイトや恐竜の化石が発掘されることで知られています。町内の地質は約1億1千万年～六千万年以前の白亜系、約3000万～200万年以前の新第三系と第四系があり、アンモナイトは白亜系の地層から数多く産出されています。小平薬川で発見されたアンモナイトは渦巻きが美しく、品種も多種にわたっていることから、道内はもちろん、全国からも研究者や化石愛好者が採集に訪れる化石スポットでもあります。

1987年(昭和62年)には、札幌在住の男性が小平薬川の上流にある更生橋の近くで動物らしい化石を発見し、町の教育委員会に届け出たところ、専門家による発掘調査が実現し、合計236個のクビナガリュウの化石が見つかりました。約8500万年前の白亜紀後期の上部蝦夷群地層から発見されたクビナガリュウの化石は福島県いわき市、北海道穂別町に次ぐ国内3種目となるもので、その後、香川大学によって復元保存されています。

ほかにも、1991年(平成3年)には旭川市の男性が発見した骨が、鑑定の結果、カモハシリュウという恐竜の化石であることがわかり、北海道初の発見として話題となりました。

五感で感じる！ 風土資産の魅力



新第三系の地層がある小幌子川流域ではスロドケウィッチホタテという冷たい海で生活するホタテガイが発見され、今から1100～1300万年前ごろの「小平」は、オホーツク海とつながる冷たい海の中であったことがわかりました。



見どころ

小平ダムの公園には等身大のクビナガリュウのモニュメント等があり、また、令和2年(2020年)には、これまで小平ダムに設置されていた等身大のカモハシリュウのモニュメントが、小平町総合交流ターミナル施設「ゆったりかん」前の「おびまる広場」に移設され、いずれも化石の町のシンボルとなっています。クビナガリュウの全身骨格模型、アンモナイトなどの化石類は、小平町文化交流センターで見学することができます。

ポイント

恐竜の化石が北海道で発見されたのは小平町が初めて。カモハシリュウは中生白亜紀に生息していた体長数メートルの恐竜で、小平町で発見される化石は太古の地球の研究に大いに役立っているのです。

■基本情報 (R3.5)

地質時代：中生代白亜紀
発見地域：北海道小平町

【小平町文化交流センター】

住 所：留萌郡小平町字小平町356番地の2

T E L：0164-56-9500

休 館 日：年末年始

公開時間：9:00～22:00

観 覧 料：無料